

[調査会 NEWS 696](20.9.30)

※前号のニュース（参考情報・北朝鮮人権大学と家族からの手紙（４）山本美保さん）は 694 号になっていましたが 695 号（20.9.29）の間違いです。お詫びして訂正します。

■参考情報

690 号でお知らせした一橋総研主催・戦略情報研究所協賛のシンポジウム（10月3日18：30～）は戦略情報研究所主催講演会と同様インターネットでの中継を行うこととなりました。地方にお住まい等で参加出来ない方は(株)NetLive のホームページにてご覧下さい。

<http://www.netlive.ne.jp/>

なお、シンポジウムについては下記の一橋総研ホームページをご覧下さい。

<http://www.h-ri.org/>

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙（5）河嶋功一さんのお母さん

要望書

今日は平沼赳夫会長をはじめ拉致議連幹部の先生方にこのような懇談の場をつくって頂きありがとうございます。

「私の手で拉致問題は解決します。」と言っていた福田総理は先週、自ら辞任をしまい、私たち特定失踪者を含めた拉致被害者の家族はまたしても政府に見捨てられたという思いにかられ失望しています。

私は息子、功一が北朝鮮にいると固く信じ、何ともしても生きている間に救い出したい一心でここまでがんばってきました。

しかし残された時間がございません。

特定失踪者を含めた、この拉致問題は、私たち被害者家族の問題であるとともに日本人の生命と安心と安全という基本的最重要問題であると考えます。

是非とも拉致議連として一刻でも早い特定失踪者を含めた拉致被害者の全員の救出と拉致事件の真相の究明と解決をしていただきたく以下の項目を要望します。

(項目)

(1)拉致被害者の政府認定条件を緩和して拉致濃厚な被害者は早急に政府認定にして頂くとともに国は政府認定者と特定失踪者の取扱いを分け隔てないでいただきたい。

また今後の交渉においては特定失踪者全員を必ず調査の対象にのせて頂きたい。
以上の事を拉致議連より政府に要請して下さいますようお願いいたします。

(2)拉致議連として政府に対し現在までに知り得る特定失踪者を含めた拉致問題の情報（生存と所在の確認）を私たち特定失踪者家族にも速やかに提供して頂けるようお願いいたします。

(3)河嶋功一の拉致事件として刑事告発した後の進展の状況と経過を引き続き報告して頂けるよう拉致議連へお願いします。

(4)拉致議連より政府へ、北朝鮮政府が具体的な再調査を認め、特定失踪者を含めた拉致被害者を調査することが出来るのならば、北朝鮮の独自調査では信用できないので、本人確認のため肉親の同伴、もしくは私たちの代表として支援下さいました関係者を同伴して厳格なる調査をして頂けるよう要望します。

(5)特定失踪者を含めた拉致被害者家族、肉親は年々高齢になってきております。

特定失踪者を含めた拉致被害者が帰国した場合、現在の状況では面倒をみていくのが大変です。

また被害者本人も長い年月祖国を離れているため、私たち高齢の両親をみていく事は大変ではないかと予想されます。

つきましては、被害者が帰国した後、または私たち両親亡き後、国は彼ら被害者を国の責任の下に自活できるようにして頂きたいことを拉致議連にお願いしたい。

?特定失踪者の一家族として拉致帰還者（特に蓮池薫氏）との面談もしくは会合の場をつくって頂けるよう拉致議連に要請します。

平成20年9月11日

差出人

河嶋愛子（特定失踪者 河嶋功一の母）

河嶋智津子（河嶋功一の妹）

脊古道大（河嶋功一君を探す会代表）

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★10月3日（金）18:30 シンポジウム（一橋総研主催・戦略情報研究所協賛）

●如水会館（東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：03-5684-5096（戦略情報研究所）

★10月10日（金）北朝鮮人権大学関東校（同校実行委員会主催）

●東京都千代田区・明治大学リバティタワー1021 教室（JRお茶の水駅徒歩5分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：070-5459-9817（宋允復・守る会事務局長）、takane@isc.meiji.ac.jp
（川島高峰明治大学准教授）

★10月11日（土）13:00 奈良集会（救う会奈良主催）

●奈良市・奈良県文化会館（近鉄奈良駅から東へ徒歩5分）

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ：07463-2-3024

●資金カンパのご協力をよろしくお願いします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義：特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご連絡願います)

MM

MMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 695](20.9.29)

■参考情報・北朝鮮人権大学関東校特別講義<拉致と外交>

以下、北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会の三浦小太郎代表からのご案内です。

今、対北朝鮮外交、拉致被害者救出運動、そして人権運動はいかにあるべきか、改めて考える講演会を行います。

運動の開かれた連帯を指向し実践する荒木和博特定失踪者問題調査会代表、外務省の現場で日本外交の問題点を見つめ続けた佐藤優氏、お二人の問題提起を受け止める講演会に、是非ご参加をお願いします。

講師

荒木和博 (特定失踪者問題調査会代表)

佐藤優 (作家)

川島高峰 (明治大学准教授)

日時；10月10日(金) 午後6時半開場 7時開会

参加費 500円

場所 明治大学リバティタワー 1021 教室 JR御茶ノ水駅下車徒歩5分

http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html

主催 北朝鮮人権大学関東校実行委員会

連絡先

川島高峰（明治大学准教授） E-mail; takane@isc.meiji.ac.jp

宋ユンボク（北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会事務局長） P H S 070-5459-9817

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙（4）山本美保さんの妹さん

山本美保さんの事件については失踪のみならず警察の対応についても疑問が提起されています。詳しくは「山本美保さんの家族を支援する会」のホームページをご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/KOFUHIGASHI-3/>

嘆 願 書

姉が家族の前からいなくなって24年が過ぎました。2002年、拉致された5人の方々がやっと解放され、日本の国土を踏むことができました。その方々と同じ歳月が流れてしまいました。拉致問題を忘れないというアメリカ大統領のコメントが紹介されましたが、嬉しいというよりとてもむなしい響きに聞こえました。アメリカ大統領がこの問題を重視しているというよりは、過去のことだと言っているように聞こえたからです。拉致問題はノスタルジーと同じレベルで語られては困るのです。今、救いを待っている人たちが大勢いることを強く心に刻んでください。何の理由もなく家族から引き離され、自由を奪われている人々が現にいるということを、強く思ってください。

私達家族は、姉の戸籍に何も記せずになりました。交通事故で失った兄の戸籍に×がつけられているのを見るのは、辛くてたまりませんでした。亡骸に接し、諦めるしかなく、辛い中それを受け入れてきました。しかし、姉は生きています。生きて、苦しい中でも耐えて救いを待っています。それを思うと、×をつけることはできませんでした。確固たる証拠がない現在、姉は亡くなってなどいません。生きて北朝鮮でひたすら救いを待っているのです。

再調査を約束した北の金政権は、またもや約束を反故にしました。責任という言葉を持たない人物に思えます。その相手に、支援の約束を簡単に告げるのは、拉致という大罪に荷担しているように思えます。どうか、金政権に対し、罪を犯しているということを強く認識させてください。大罪を犯し続けるのであれば、国際社会から孤立し、何の見返りどころか罰を受けることになるということを認識させてください。そして、その罰を科さなくてはならないということを国際社会に訴えてほしいのです。

奪われた人を奪い返すのに、こんなにも時間と労力があるのかと思知らされています。横田めぐみさんのご両親は、1000回を超える集会に出席し、救出を訴えてきました。1000回達成というその時のニュースにも違和感を覚えました。記録を打ち立てたようなアナウンスに、怒りさえ覚えました。決して体が健康ではないご両親に、これほどの負担をかけているという現実をどう受け止めているのかと思いました。私自身、仕事と家庭、姉救出の活動との狭間で、身動きのとれない状況や、新たな障害とも向き合わなくてはならない現実を味わってきました。これまで生きてこられたのも、姉のことを親身に心配し、具体的な行動として支援して下さった多くの方々のお力添えによるものです。その方々への感謝の気持ちは忘れたことはありません。支援して下さった多くの方々の思いに応える意味でも、必ず姉を救出し、姉に紹介したいと思っています。

北朝鮮にいる拉致被害者の置かれている状況を是非理解し、一刻も早い救出をお願い致します。
残された家族がこの世に生きている間に、是非再会させていただきますよう、切にお願い致します。

2008年9月11日

山梨県甲府市 山本美保の妹
森本美砂

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月3日(金) 18:30 シンポジウム(一橋総研主催・戦略情報研究所協賛)

●如水会館(東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 03-5684-5096(戦略情報研究所)

★10月10日(金) 北朝鮮人権大学関東校(同校実行委員会主催)

●東京都千代田区・明治大学リバティタワー1021教室(JRお茶の水駅徒歩5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 070-5459-9817(宋允復・守る会事務局長)、takane@isc.meiji.ac.jp
(川島高峰明治大学准教授)

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ: 07463-2-3024

★10月19日(日) 秋田集会(救う会秋田主催)

●秋田市

●代表荒木が参加

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会
主催)

●敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)

●代表荒木が参加

★12月7日(日) 14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実
行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ:090(9816)2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

MM
MMMMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博(送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしく申し上げます。

[調査会 NEWS 694](20.9.28)

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙(3) 生島孝子さんのお姉さん

前号に引き続き9月11日、特定失踪者家族と平沼赳夫拉致議連会長・西村真悟幹事長との
面会の折平沼会長に託された手紙・要請文書を掲載します。なお、この文書は平沼会長及び会
長を通じて拉致議連の議員に渡すと云う当初の趣旨に添い、作成されたもので、政府に対する
要望ではありません。

平成20年9月11日

拉致議連並び議員各位

特定失踪者生島孝子姉生島馨子

北朝鮮が日本人拉致を認めて6年経過しました。当時、日本政府が北朝鮮に行方不明者の調査要求をした名簿の中に氏名の無い、曾我ひとみさんが居ました。此の事により様々な形で行方不明の家族が名乗り出て（後に特定失踪者と言われる人々）現在400人以上にもなります。

しかし、政府は特定失踪者に対し何の対応もしていません。そこで下記の2点を御理解いただくとともに、お願い申し上げたいと思います。

記

1、拉致議連の議員のみでなく全議員の方々に、特定失踪者の現状を正確に知って欲しいと思います。

イ 特定失踪者は、大別して（少し乱暴ではあるが）3グループになるのではないのでしょうか。

[告発したグループ、行方不明当時の状況が非常に似ていて極めて拉致の可能性が高いと思われるグループ、調査会に名乗り出たが拉致であるかどうかは五分五分で、拉致と決めつける事に不安があるグループ]

（それぞれ状況が違うので、極端に言えば400数十通りかも知れません）

ロ 極一部を除き殆どの家族には政府が対応していないことです。

2、政府関係者の「拉致被害者全員」とか「その他にも居ると云う認識のもと」という言葉だけでなく、具体的に何らかの取り組みが出来ないのだろうか。議連として何らかの提案、助言を検討して頂けないものでしょうか。

（政府独自で名簿作成すると云う小さな事でも、政府が無視してはいないという意思表示になると思うのですが。）

次に政府関係者、一部有識者などは「拉致は1970年代後半から80年代前半」と言っている。これは世間に誤った発信をしていると思うが、如何でしょうか？

拉致問題解決の交渉相手が北朝鮮であることは明白です。しかし、特定失踪者の背負っている問題点についても、ご理解頂きたいと思います。

(もし詳細を御説明する機会があるのでしたら、幸いです。)

[お断り、このお願は生島個人のものであり私見です。特定失踪者問題調査会及び他の特定失踪者ご家族と、協議したものではありません。]

生島孝子の場合

妹生島孝子は、昭和47年11月1日突然行方不明となり、37年経過現在67歳になります。その後、告発はしましたが国からは何の対応もないままです。一部の方が言うように、北朝鮮の体制が変わらなくては取り返せないとしても、その時になってから手をつけたのでは遅すぎます。その時の為にも今から、調査情報収集を政府が行って欲しいと願います。拉致は主権侵害だ、日本の安全保障の問題だと云いますが、言葉だけで何の具体的行動も伴っていないと思います。政府認定もなくこのままで時間が経過しますと、年齢からみて命の力尽きてしまう可能性もあります。認定者も特定失踪者も時間の経過は同じなのですから、政府に早い時期の関与を望みます。又、日本政府が関与していないと云う事は、北朝鮮に何らかの変化のあったとき、妹孝子の命の保証はないのではないかと懸念します。

次に、現在活躍している方々は、ほとんど戦後生まれの方で想像がつかないと思うのですが、終戦時での引き揚げ者の困難を思うと、北朝鮮に変化のあった時、名前も明らかにされていない特定失踪者は、その時と同様どのような状況、混乱に巻き込まれるのでしょうか。特定失踪者まで広げては、日朝国交正常化が遅れるなどと考えず、国民の命の重さを感じて欲しいと思います。

議連の先生方、ぜひご理解の上私たち特定失踪者にもあたたかいご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

姉生島馨子

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月3日(金) 18:30 シンポジウム(一橋総研主催・戦略情報研究所協賛)

●如水会館(東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 03-5684-5096(戦略情報研究所)

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ: 07463-2-3024

★10月19日(日) 秋田集会(救う会秋田主催)

●秋田市

●代表荒木が参加

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

●敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)

●代表荒木が参加

★12月7日(日) 14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ: 090(9816)2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

MM

MMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-8 第6松屋ビル 401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は

kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしく申し上げます。

[調査会 NEWS 693](20.9.27)

■ニューしおかぜグッズ誕生

日頃から皆様にご支援いただいている「しおかぜグッズ」に、新しいアイテム、ブルーリボン付き3色ボールペン、クリアファイル、パスケースが追加となりました。ブルーリボン付き3色ボールペンは、U I ゼンセン同盟の青年委員会・ヤングリーブスの皆さんからのアイデアから、常に拉致問題を忘れないためにボールペンを胸に挿した時に、ブルーリボンがぶら下がるようになっていました。既にU I ゼンセン同盟からは1300本以上ご注文、お買い上げ頂くほど大好評です。どのアイテムも鮮やかなブルーを使い「Shiokaze」の文字と「ブルーリボン」をあしらっています。また、ネックピースボールペンもリニューアルいたしましたので合わせてよろしくお願い致します。

今月中には調査会ホームページで公開し販売を開始しますので、これまでの「しおかぜグッズ」同様に、新たに加わったアイテムも是非お手にとって頂ければ幸いです。お問い合わせは調査会事務所までお願い申し上げます。

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙 (2) 古川了子さんのお姉さん

前号に引き続き 9月11日、特定失踪者家族と平沼赳夫拉致議連会長・西村真悟幹事長との

面会の折平沼会長に託された手紙・要請文書を掲載します。

北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟
会 長 平沼 赳夫 様

請 願 書

私たちの大切な家族古川了子は昭和48年7月7日、かかりつけの美容師に電話をして、当日の予約をキャンセルし「いま千葉駅にいます」「また近いうちに行きます」という電話を最後に突然失踪しました。当時18歳、人生に夢と希望をもって働き始めて新社会人でした。その姿は18年後に、北朝鮮の915病院に患者として入院している姿を元北朝鮮工作員の安明進さんが目撃、会話を交わしました。会話と云っても安さんが一方的に嘆願したことを、彼女は「うんうん」と笑顔でうなずいたということでした。

それ以外の情報は、日本の警察が調べても何一つ出てきませんが、特定失踪者問題調査会での調査によれば、当時の多くの人々の失踪者状況や、千葉県の戦前からの地理的特徴と在日の人々の居住状況など、安明進さんの目撃情報から、古川了子は北朝鮮による拉致被害者であると確信し、本人の拉致認定と特定失踪者全体への対応改善を求めて平成17年4月から日本政府を相手に行政訴訟を起こしました。その後平成19年4月に内閣官房拉致問題対策本部事務局総合調整室 河内隆室長の「表明書」を受け、日本政府の誠意を期待して提訴を取り下げる結果となりました。

それから一年以上経ちますが、古川了子と特定失踪者家族を取り巻く状況は何一つ変わっていません。そこで皆様のお力で政府と関係機関を強く動かし、今こそ国の威信をかけて、拉致被害者を全員取り戻してくださるようここにお願いいたします。

1. 日本政府は、政府が把握している「拉致の可能性を排除できない人々」の名簿を北朝鮮に突きつけ、日本の国民を取り戻すことに主導権を握って北朝鮮と交渉してください。政府は現在、特定失踪者を「拉致の可能性を排除できない人々」と呼称し、その存在は認識しているが誰それと言えない、つまり「すべての拉致被害者を取り戻す」と北朝鮮と交渉していながら、日本政府が具体的に「すべての拉致被害者とは誰々」と明言できないところに交渉の弱さがあ

ります。

2. 総理大臣に誰がなろうと「日本国民にとっての緊急最大課題は、北朝鮮による拉致問題の解決」すなわち「拉致されたすべての日本人の早期救出」であることを強く認識し、政府はもとより、外交その他関係者が一丸となって、被害者国民の人権を復権してください。

3. 今回の総理大臣辞任による北朝鮮側の「様子見」の態度は全く遺憾であり、日本の総理が誰であろうと 2002 年の日朝平壤宣言に則り、実務者交渉の約束を順守するよう強く北朝鮮に求めて、被害者本人と待ちわびる家族の命がある間に一日も早く取り戻し、全容解明していただきたく願います。そのためには経済制裁の安易な解除は絶対に避けてください。

平成 20 年 9 月 11 日

特定失踪者 古川了子

母 古川 朗子

姉 竹下 珠路

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月3日(金) 18:30 シンポジウム(一橋総研主催・戦略情報研究所協賛)

●如水会館(東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 03-5684-5096(戦略情報研究所)

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ: 07463-2-3024

MMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 692](20.9.26)

■平沼拉致議連会長へ、特定失踪者家族からの手紙（1）木村かほるさんのお姉さん

さる 9 月 11 日、特定失踪者家族と平沼赳夫拉致議連会長・西村真悟幹事長との面会・要請が行われました。その折欠席者も含め多くのご家族から平沼会長に手紙・要請文書が託されました。その内容は一人でも多くの方々に知っていただきたいものであり、今後順次ご紹介していきます。最初は昭和 35（1960）年に秋田で失踪した木村かほるさんのお姉さん、天内みどりさんからのお手紙です。

特定失踪者家族からの手紙

妹を捜して四十八年

天内みどり

私は特定失踪者問題調査会より拉致の可能性が高い失踪者として公表されている木村かほるの姉の天内みどりと申します。

妹は、昭和三十五年二月二十七日、秋田市で姿を消しました。当時、日赤秋田高等看護学校三年で卒業式を間近に控え、実家の近くの八戸日赤病院への就職も決まっており、本人も家族もたのしみに待っていた矢先のことでした。

二十七日（土）夕方五時過ぎ「ちょっと出かけてくる」と友人に告げて寮を出たきり、帰って来ませんでした。

八戸の自宅に電話をもらったのは三日が過ぎた三月一日の午後でした。当時のことですからすぐというわけにもいかず、父と私とが秋田に着いたのは二日の夕方でした。身の回りの物や机の引出しの中など調べたのは私でしたが、何ら変わったことはありませんでした。自殺や失踪を匂わせるものは見当りませんでした。

翌日三月三日、失踪六日目、秋田警察に捜索願いを出しました。

この時、年配の警察官が次のようなことを言いました。

「この人は自殺でない。このような失踪事件が続いている。私達は『神かくし』と呼んでいるが、この人も神かくしに会ったのだ」と。

私は妹の失踪当時から「北朝鮮に連れていかれた」と思い続けていました。それにはいくつかの理由があります。

<絶対自殺ではないと思う根拠>

私と妹と母の三人は、二十年八月十三日、新京から日本に帰る途中、平壤で汽車から降ろされ、十五日の敗戦を迎え、以後難民として收容所生活をしました。毎日何人もの人が死んでいくのを見ていた妹が生きることの大切さを学んでいないはずがない。十二歳の私が病気の母と妹を助けるために朝鮮人の家に働きにいつても食べ物を手に入れてきていたのを、「ありがとう」といつてくれて、うれしそうに食べていた妹がどうして自ら死んだりするのでしょうか。

平壤から逃れて五十八里、私にひきずられて歩いて来た妹が自殺などするはずがありません。

母が聞いてきたイタコの話では「海を船で遠ざかっていく」のがみえるとか、私が聞きにいった恐山のイタコは「この人は死んでいない。黄泉の国には来ていない。生きている」といいました。いつもなら笑って済ますようなこのような話を「かほるは生きている」と信じておくことができ、ありがたくうれしいことでした。

父は何十枚もの「尋ね人」のビラを秋田、青森の各地、奥村線、東北線の各駅、仙台、東京、大阪、神戸、福岡など全国の主要都市をまわって配ったり貼ったりして歩きました。

妹を捜してビラ貼る父の背に
積もる白雪いまでも目に顕つ

<男鹿半島での漁師の話>

私が男鹿半島でピラを配っていた時漁師が「この辺には日本の船と違う〇〇な船がよく来て
いる。妹さんはそんな船に乗せられ、どこかへ連れていかれたのではないか」というのです。
私はやっぱり、と思いました。

<昭和三十八年 秋田の能代で作業員とみられる遺体が漂着したという新聞報道がありました
>

私はやはり北朝鮮の作業員に連れ去られたという確信をもつようになりました。

身体の弱い母はひたすら妹を待ちつづけて妹が勤めるはずだった日赤病院で昭和五十年に亡
くなりました。

日赤の白衣の天使に見守られ
母は逝きなり 妹いづこ

<二〇〇〇年、平成十二年の夏、私は「北朝鮮からの引揚げの手記」を「暮しの手帖」に載せ
てもらったのですが、この手記から妹に関して書いた部分が切り取られるという事がありまし
た>

東京江東区のコミュニティセンターでのことです。

偶然、妹の看護学校の同級生がこれを見つけて連絡をくれました。

誰が切り取ったか？

それは次のような内容でした。

「病弱の母の助けになりたいと看護婦の道を歩んでいた妹は看護学校の卒業式を目前にしたあ
る日、秋田の街で忽然と姿を消した。

警察では「神隠し」に会ったのだと言い、母が訪ねたイタコは「北の海を船で連れ去られて
いくのが見える」と言ったという。

「妹よ寒くはないか、飢えてはいぬかと思わぬ日はない」

このことは「妹は拉致されて北朝鮮にいる。」それを知らせてくれたようなものです。

<二〇〇二年、平成一四年十二月十九日、週刊新潮の記事『北朝鮮脱北女性の新証言』>

「私は拉致日本人夫婦の娘と同級生だった」という見出しで同級生のお母さんは「悔しい形でやって来た」日本人で現在の餓死寸前のような状況が綴られ、この女性は年令からみて木村かほるさんではないか というものです。

その場所（週刊新潮に電話をして田口記者より直接聞きました）

咸鏡北道吉州英北

二〇〇三年、平成十五年一月

救う会から分かれて特定失踪者問題調査会発足

拉致の疑いありとして四十名公表

私は公表しない立場で届出る。

五月六十一名公表

この時妹の名前、写真を公表してもらう。

二〇〇四年、平成十六年九月

告発が受理されマスコミで報道される。

以後妹に関して朝鮮にいる、朝鮮に行ったなどまことしやかな噂が流れ、その出所に関してわかる限りのことは警察、公安、調査会には報告済み。

失踪当時から事情を把握している人間がいることを思わせられた。

二〇〇七年十月

一九八二～三年に北朝鮮にいて脱北して来たタイ人女性（三名）が当時日本語を教えてもら

っていた日本語教師についての証言

本人に会って直接取材してくれたのは調査会の真鍋さんです。ほとんどの証言が妹に違いな
いと思わせるものでした。

○ 顔は丸く、背丈は一五二～三センチ

目が細く色白

笑顔を絶やしたことがなく、とても優しい

化粧はしない。おしゃれではない

○ 朝くると「おはようございます。お元気ですか」とやさしく声をかけてくれた

○ 毎日キャンデーをくれた

○ 当時二十歳の子供がいると話してくれた

○ 平壤に住んでいた。車で送ってもらっていた

○ 真鍋さんが持参した写真の中から似ているとして妹を指したそうです

○ 当時の妹は四十三歳と思われませんが、姉（五十代）の写真を見せたら、笑顔がそっくりと
のこと

このアメ（キャンデー）について思い当たることがあるのです。

私達が引き揚げてきて貧乏だった時、雑貨屋に置いてあった丸くて黒いアメを一つ買って欲
しいと泣き出したことがあります。もちろんお金がないと言って泣いている妹をひきずって店
の前から連れ去りました。

秋田で妹捜しをしていた時、身寄りのない、結核で退院させられたという老婆を訪ねました。

その老婆は、妹が見舞ってくれてアメを置いていった話をしてくれました。

このタイ人のキャンデーの話をきいて、これは妹だと思いました。

タイ人女性が収容された招待所は龍岳山（ヨンアクサン）にあると推測されます。

タイ人の証言に関しては調査会の資料です。

この招待所でこの時期日本語教師をしていた日本人女性を調べてもらって欲しいと内閣官房
拉致問題対策本部事務局総会調整室長河内隆氏に申し入れをしてあります（調査会関連で）。

妹よ蝶ともなりて還り来よ

万景峰に翅をやすめて

お姉ちゃんと呼ぶ声のしてふり返る

昨日も今日もそして明日も

夢を適えたい

終戦を平壤で迎えた私達家族、母と妹と私は平壤の船橋里、難民収容所で一年を過ごしまし
た。

食べる物もなく、多くの子供たちや身体の弱い人たちが亡くなりました。

二十一年夏、収容所を逃げ出して歩いて三十八度線を越えて南朝鮮に来ることができました。

途中多くの死をみつめながら私は必ずいつかお参りに来ようと思っていました。

朝鮮で死んで行った多くの人たちの血と涙を吸い取った草木は成長を続けます。私は朝鮮の
草木で布を染めて遺家族に届けたいと思うようになりました。

二千五百名近い同胞が埋葬されている龍山墓地に生えたタンポポやススキ、ヨモギを染めて
持ち帰りたい。

ところがわが草木染めをやりはじめてからの三十年間に子供を亡くした叔母さんたちが次々

と亡くなってもう届けたい方がいなくなりました。

そしてひらめきました。

山田洋次の「しあわせの黄色いハンカチ」あの情景を龍山墓地や大同江の河岸で実現させたい。

私が五十八里を歩いて帰ると伝えたオモニはいり大豆とニンニクを持たせてくれました。

そのオモニに無事帰ったことを伝えたい。

オモニ、そして引揚げの時歩いて帰らず残ったとされる二千人といわれる人たち、そして拉致された人たち、みんなに見てほしい。草木で染まるやさしいいろ。命の色を。

誰がどこにいるか、拉致の親展の見てこない現状を打破する意味でも私に草木染めをさせてほしいのです。

何百枚ものいろとりどりのハンカチを大空高くひらめかせたい。オモニたちと一緒に草木染めをしたい。

収容所で草取り、豆腐売り、せんたく、朝鮮漬け、子守りなどオモニたちは私を働かせてくれて食べ物をくれました。ありがたいことでした。

死んで朝鮮の土となった同胞の鎮魂と

拉致被害者の人たちへのメッセージと

平和への祈りと、それらをこめた草木染めのハンカチが空高くはためく……。

私の願いが叶えられますことを祈りつつ。

平成二十年九月五日

天内（あまない）みどり

（七十五才）

拉致議連会長

平沼赳夫様

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月3日(金) 18:30 シンポジウム(一橋総研主催・戦略情報研究所協賛)

●如水会館(東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 03-5684-5096(戦略情報研究所)

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ: 07463-2-3024

★10月19日(日) 秋田集会(救う会秋田主催)

●秋田市

●代表荒木が参加

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

●敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)

●代表荒木が参加

★12月7日(日) 14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ: 090(9816)2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

私自身は麻生さんとは全く面識がありません。豪邸の写真を見ても「あの家では掃除機をかけるのにもずいぶん時間がかかるだろうなあ」と思う位で別世界の人という感じですが、ともかく誰がなっても拉致問題を進めざるを得ないようにしなければならないのであって、その意味では一喜一憂している暇はありません。

ただ、一つだけ、麻生内閣に期待していることがあります。ちょうど一年ほど前に発行された『奪還を命ず』（曙機関著・宝島社）は自衛隊が拉致被害者を救出する漫画ですが、ここに出てくる総理大臣は多分に漫画好きの麻生総理を意識したべらんめえ調のキャラクターになっています。その総理が救出のために新編された部隊の編成完結式で「1億2000万の日本人を代表して君たちをお願いします。どうか日本人を助けてくれ。この国の自由と主権を守ってくれ」というシーンがあるのですが、これを何とか実現してもらいたいということです。

ちなみに本書には私も前書き的な文章(漫画ではなく)を寄稿していますが、本編のストーリーは金正日が死亡して、それを軍が隠すところから始まります。現実にも金正日の「無能力化」が進んでいると想定される状況で、今もっとも大事なものは政治のリーダーシップです。総理に限りませんが、政治家は政治が本当にしなければならないことが何なのかをしっかりと持ってやっていっていただきたいと、切に希望する次第です。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月3日(金) 18:30 シンポジウム(一橋総研主催・戦略情報研究所協賛)

●如水会館(東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 03-5684-5096(戦略情報研究所)

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ：07463-2-3024

★10月19日（日）秋田集会（救う会秋田主催）

- 秋田市
- 代表荒木が参加

★10月26日（日）14：00 敦賀集会（嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催）

- 敦賀市・敦賀総合福祉センター（あいあいプラザ）
- 代表荒木が参加

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

- 藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）
- 常務理事杉野が参加
- 問い合わせ：090（9816）2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

MM
MMMMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-8 第6松屋ビル 401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博（送信を希望されない方、宛先の変更は

kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい）

●資金カンパのご協力をよろしくお願ひします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義：特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京U F J銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

（銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願ひます）

他

趣旨：(一橋総研からのメッセージ)

同胞を北朝鮮に拉致されても、取り戻すことができない日本は、主権国家とは言えません。

サブプライムローンの破綻をきっかけに、ステイト・キャピタリズム国家としての米国は本性を曝け出し、AIGの「国有化」を進め、財務省は、ウォールストリートをその傘下に置こうとしています。ロシアは既にエネルギー産業を国有化し、共産国家としての中国は、金融・経済の実権を共産党政府が牛耳っています。まさしく、これからの世界は、国家が、国益をなすりふりかまわず追求する「新帝国主義時代」に突入していくと思われます。

国民の命を救えない日本政府に、エネルギー・食糧・鉱物資源を確保し、日本人の命と生活を守る国家戦略の構築とその実行に、多くを期待することはできません。しかし、我々は生き延びていかななくてはなりません。今回は、なぜ、北朝鮮から、同胞を救い出せないかを徹底的に究明し、その中から、日本の国家としての不備を抉り出し、その解決策としての「日本の未来戦略」を、皆様とともに議論できれば、望外の喜びです。多くの方々の参加をお願い申し上げます。

お申し込みは一橋総研事務局 林さんまで。メールアドレスは以下の通りです。戦略情報研究所にご連絡いただいても結構です (03-5684-5096)。

info@h-ri.org

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月3日(金) 18:30 シンポジウム (一橋総研主催・戦略情報研究所協賛)

●如水会館 (東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ：03-5684-5096 (戦略情報研究所)

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願います)

MM
MMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 689](20.9.23)

■質問状への小池事務所からの回答

先日お知らせした守る会・基金・調査会合同の質問状に対し19日夜、小池百合子事務所から回答が届きました。文責は水田秘書になっていますが、水田秘書はかつて難民基金の加藤事務局長とともに中国で活動中当局に拘束された経験を持つ人です。今回その関係で特別の要請をした訳ではないのですが、結果的に回答いただいたのが小池事務所だけであったということも含め回答への御礼とあわせてご報告申し上げる次第です。

いつもお世話になっております。すべて、まとめてお答えいたします。

北朝鮮に対しては圧力重視です。金正日独裁政権下にあつて、決定権のない官吏といくら対話を行つても意味はありません（金正日直接もしくは金正日に直接つながるラインとの対話ならその限りではありませんが）よつて、経済制裁はもっと他に何ができるのかを研究こそすれ、解除はありえない選択肢です。

北朝鮮は拉致という凶悪犯罪の加害者であり、こちらは被害者なのです。言い換えるならば、彼らは凶悪犯罪の犯人であり、こちらはそれを取り調べる警察の立場ともいえましよう。一般の犯罪でもそうですが、基本的に犯罪の内容は犯人が自白するものであり、警察が犯人と同じテーブルに座つて犯罪内容を吟味するものではありません。犯人が自白しない限りは自白するまで問い詰めねばなりません。警察が犯人にお願いして罪の内容を教えてもらうのではなく、犯人に自白せよと厳しく糾弾して当然なのであります。

また、北朝鮮に拉致された被害者はもちろん特定失踪者の方の中にもその疑いがある方があるのであれば、政府が全力を持って対処せねばならないのは当然であります。国民の生命を守るのは国家の最優先義務であります。

そのためには?官民の専門家によるオールジャパンの北朝鮮プロジェクトチーム?国際連携による北朝鮮不法資金の封じ込めが必要であると考えます。

日本の対北朝鮮情報はそのピースひとつひとつは素晴らしいものがありますが、省庁の縦割りなど組織の壁によってひとつのパズルになっていません。ピースひとつひとつを組み合わせることにより、北朝鮮の弱点をあぶりだす対北朝鮮戦略を再構成してゆかねばなりません。その上で、金正日政権の命綱である資金源を封鎖し、北朝鮮の方からその罪を自白するようにせねばなりません。

また、中国に対しては私自身が拘束された経験がありますから、その悲惨さは肌でわかっておりますので、中国に対しても難民を保護するよう強く働きかけてゆきたいと思います。

今年の北朝鮮のキムジャンは燃料不足から困難になるはずですが、唯一のおかずといってもいいキムチが十分に作られなければどうなるのでしょうか?悲惨なのは国民たちです。彼らのためにも断固たる意思を持って北朝鮮問題にとりくんでゆきたいと思います。

小池百合子事務所

文責：水田

■小浜等福井県嶺南地区の現地調査について

報道関係各位

いつもお世話になります。このたび嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会（会長・千田千代和若狭町長・しおかぜネットワーク参加団体）では 10 月 26 日に敦賀で行われる集會に合わせ現地視察を行うこととなりました。今回は高敬美・剛姉弟が拉致されたといわれる小浜の岡津海岸から沖合の蒼島にかけての地域を船で現地調査する予定です。つきましては報道関係各位におかれましても取材賜りますようお願い申し上げます。

※政治状況がご案内の通りですので、総選挙日程で投票日が 10 月 26 日となれば変更もあらうるのでご了承ください。変更の場合は後日、お知らせします。

参加予定者

嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会役員

特定失踪者家族（山下春夫さん・山下貢さん・宮内和也さん家族）

地元関係者（北條正・調査会理事を含む）

調査会代表 荒木

予備役ブルーリボンの会会員（岡津海岸及び蒼島調査を支援予定）

10月25日（土）

14：00 JR小浜市役所前集合（JR小浜駅から徒歩5分）

（その後車両での移動になりますが、移動手段は各自ご準備ください）

14：20 岡津海岸周辺調査（海上より）

15：20 小浜公園付近視察（海岸道路より）

16：10 山下春夫さん失踪現場視察（一番町）

17：00 宮内和也さん失踪現場視察（世久見）

10月26日（日）

10：30 山下貢さん失踪現場視察（越前町） 約20分

※このすぐ近くに特定失踪者林政俊さんの失踪現場もありますのでそちらにも寄る予定です。

14：00 敦賀総合福祉センター（あいあいプラザ）にて集会。

16：30 集会終了

参加申し込みについて

船の手配がありますので、乗船して取材されることを希望される場合は

?会社名 ?取材にあたっての代表者及び携帯等連絡先 ?スタッフの人数

を救う会福井の池田欣一会長に10月10日までにファックスにてご連絡をお願いします（多少の追加は可能ですが、船の定員もありますので、先に申し込まれた方を優先させていただきます）。

ファックス番号 0770-52-5176（電話兼用）

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★10月3日(金) 18:30 シンポジウム(一橋総研主催・戦略情報研究所協賛)

●如水会館(東京都千代田区・地下鉄神保町・竹橋下車5分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:03-5684-5096(戦略情報研究所)

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)

●代表荒木・理事三宅が参加

●問い合わせ:07463-2-3024

★10月19日(日) 秋田集会(救う会秋田主催)

●秋田市

●代表荒木が参加

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

●敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)

●代表荒木が参加

★12月7日(日) 14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ:090(9816)2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

MM

MMMMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-8 第6松屋ビル 401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしくお願いします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義：特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京U F J 銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご連絡願います)

MM
MMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 688](20.9.18)

■参考情報 法律家の会イベント

以下、法律家の会からのお知らせです。なお、講演される申東赫氏は先日萩本喜彦さんに似た日本人を見たと言った金東赫氏とは別人です。

『収容所に生まれた僕は愛を知らない』著者・申東赫氏 来日講演

北朝鮮の政治犯収容所で生まれ育ち、初めて脱出に成功した青年が、その地獄絵図のような実態を告白した本を出版しました。その人、申東赫(シンドンヒョク)氏を韓国から呼びして、北朝鮮の政治犯収容所や脱北者問題を考える講演会を開催することにしました。

なお、勝手ながら、会場の定数の関係で、法律家の会以外の方々は先着順で20名とさせていただきます。参加費無料です。

参加ご希望の方は、1023@kwlaw.org 法律家の会あてメールでご連絡ください。

または、FAX 03 3357 0297 土田弁護士あて連絡ください。

日 時 平成20年10月23日(木)
開 場 午後5時30分
開 会 午後6時 <8時30分ころ閉会予定>
場 所 弁護士会館10階(1006AB) 予定
主 催 北朝鮮による拉致・人権問題にとりくむ法律家の会

《申東赫氏の略歴》

1982年11月19日、价川14号政治犯管理所完全統制区域で収容者夫婦の息子として生まれ、囚人生活を始める。1996年11月、母と兄が脱出を企て失敗、公開処刑される。2005年1月、収容所からの脱出に成功。2005年2月、中国に脱北。

2006年8月、韓国入国。現在、「北韓政治犯収容所解体運動本部」(ソウル)に加わり、かつて自分が生まれ育った政治犯収容所の無実の囚人を解放するための、政治犯収容所廃絶運動を進めている。

《著 書》

題名「収容所に生まれた僕は愛を知らない」
出版社：KKベストセラー(電話03-5976-9121)

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★9月21日(日) 13:00 仙台集会(救う会宮城主催)

- 仙台市・肴町公園(青葉区大町)
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ:090-3755-5893(安藤会長)

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

- 奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)
- 代表荒木・理事三宅が参加
- 問い合わせ:07463-2-3024

★10月19日(日)秋田集会(救う会秋田主催)

●秋田市

●代表荒木が参加

★10月26日(日)14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

●敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)

●代表荒木が参加

★12月7日(日)14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ:090(9816)2187又はsukukaikanagawa@hotmail.com

MM

MMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は

kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしくお願いします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義:特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義:特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願います)

MM

MMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 687](20.9.17)

■自民党総裁候補並びに小沢民主党党首への質問状

昨日、守る会、難民救援基金、調査会の連名で下記の質問状を自民党各総裁候補並びに小沢一郎民主党党首に郵送並びにファックスで送りました。この質問状は三浦小太郎・守る会代表が中心になって作成されたものです。結果については後日発表します。

質問状

北朝鮮の拉致問題、人権問題にいかにとりくむのか
各総裁候補のお考えをお聞かせください

拝啓

自民党総裁選候補者

麻生太郎先生

石破茂先生

石原伸晃先生

小池百合子先生

与謝野馨先生

前略

国内外の情勢が急を告げる中、日々内政、外交の最前線で尽力されているお姿に敬意を表します。

さて、突然の文書にて失礼致しますが、私達は拉致問題、脱北者問題、そして北朝鮮の人権問題に取り組むNGO諸団体です（活動内容などはホームページをご参照ください）。その立場から、私達は国政の最大課題の一つとして、拉致問題の解決、ひいては北朝鮮現体制の人権改善に取り組む事を、日本政府に強く望むものであります。

今回の総裁選は、事実上現時点における日本の総理大臣を決定するものであり、将来の総理候補にも、この問題に関する明確な意見表明を是非お願いいたしたく、以下の点について、各候

補の方々のご意見をお伺いしたく存じます。

1、拉致問題の解決について、どのような政策を今後総理総裁となった暁には選択されるでしょうか。制裁の強化でしょうか、それとも、北朝鮮が再調査を行えば制裁の一時解除に踏み切るおつもりでしょうか。

2、拉致実行犯である、よど号犯とその関係者の一部は既に帰国していますが、彼らは八尾恵氏を除き全く真実を語ろうとしません。彼らを国会喚問など、何らかの手段で公的な場において、八尾証言やそのほかの情報に基づき告発することはできないでしょうか。

3、NGOである特定失踪者問題調査会には数多くの失踪者、行方不明者の家族の声が寄せられています。政府認定の被害者のみならず、この失踪者家族の問題にも取り組むことは、国民の生命と人権を守るべき政府の使命と思いますが、失踪者問題にどのように取り組まれるおつもりでしょうか。

4、北朝鮮の現在の体制は苛酷な人権弾圧を行っています。その中では日本国民である日本人妻もまた収容所などで苦しんでいると言う脱北者の証言があります。(安明哲「北朝鮮絶望収容所」隣国で繰り返されているアウシュビッツにも匹敵する人権弾圧をやめさせるために、どのような外交政策をお考えでしょうか。

5、現在、中国をさ迷う脱北者（北朝鮮難民）は、本来保護を受けるべき難民であるにも拘らず、中国政府は彼らを不当に逮捕し北朝鮮に強制送還しています。この難民条約違反の行動に対し、中国政府に対し抗議する意志はおありでしょうか。

6、人道的な難民救援の立場からも、また、拉致問題に対する情報を収集するためにも、日本政府は北朝鮮人権法の条文に従い、帰国者、日本人妻とその家族に留まらず、脱北者全般を広く保護対象とすべきと思いますが、その点に対してはいかががお考えでしょうか。

7、一九五九年の北朝鮮帰国事業開始以後、9万3千人にも及ぶ帰国者並びに日本人配偶者が北朝鮮に渡り、かの地で多くの人権侵害に苦しんでおります。帰国者、そして日本国民である日本人妻の人権改善について、どのような外交政策をお考えでしょうか。

私達は日本政府が、拉致被害者を全員奪還し、かつ東アジアの人権改善に寄与する事を心か

ら望んでいます。そのために総裁候補の方々がいかなる政策と展望をお持ちか、ぜひとも、公的な場で発言され、総裁選の意義をさらに深める事を期待しております。

この質問へのお答えは、公的な場で公表されるか、もしくは下記調査会事務所あてにメールもしくはファックス等にてお送りください。

Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

特定失踪者問題調査会 代表 荒木和博

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 代表 三浦 小太郎

北朝鮮難民救援基金 事務局長 加藤 博

質問状

北朝鮮の拉致問題、人権問題にいかにとりくむのか

民主党党首としてのお考えをお聞かせください

民主党党首 小沢 一郎 先生

前略

国内外の情勢が急を告げる中、日々内政、外交の最前線で尽力されているお姿に敬意を表します。

さて、突然の文書にて失礼致しますが、私達は拉致問題、脱北者問題、そして北朝鮮の人権問題に取り組むNGO諸団体です（活動内容などはホームページをご参照ください）。その立場から、私達は国政の最大課題の一つとして、拉致問題の解決、ひいては北朝鮮現体制の人権改善に取り組む事を、日本政府に強く望むものであります。

民主党は、次の総選挙に於ける勝利と政権獲得を目指しておられますが、この北朝鮮問題に関する明確な意見表明を是非お願いいたしたく、以下の点についてのご意見をお伺いいたしたく存じ

ます。(以下、質問1～7は総裁選候補者質問状と同文)

私達は日本政府が、拉致被害者を全員奪還し、かつ東アジアの人権改善に寄与する事を心から望んでいます。そのために野党第一党である民主党党首小沢一郎先生がいかなる政策と展望をお持ちか、ぜひとも、公的な場で発言され、民主党の姿勢を明確にされる事を期待しております。

この質問への答えは、公的な場で公表されるか、もしくは下記調査会事務所あてにメールもしくはファックス等にてお送りください。

Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

特定失踪者問題調査会 代表 荒木和博

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 代表 三浦 小太郎

北朝鮮難民救援基金 事務局長 加藤 博

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★9月21日(日) 13:00 仙台集会(救う会宮城主催)

- 仙台市・肴町公園(青葉区大町)
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ: 090-3755-5893(安藤会長)

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

- 奈良市・奈良県文化会館(近鉄奈良駅から東へ徒歩5分)
- 代表荒木・理事三宅が参加
- 問い合わせ: 07463-2-3024

[調査会 NEWS 686](20.9.15)

■萩本喜彦さんに似た人物の目撃証言について

本日以下の文書を発表しました。今後できるだけ早くに対応を進めていきたいと考えています。

平成 20 年 9 月 15 日

特定失踪者萩本喜彦さんに似た人物の目撃証言について

特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

本日（9 月 15 日）、都内で開催された国民大集会（家族会・救う会・拉致議連主催）において元工作員・金東赫（キム・ドンヒョク）氏の目撃証言が発表された。その証言の中に金氏が平壤市内で特定失踪者萩本喜彦さんに似た人物を目撃したとの注目すべき内容があった。

証言によれば金氏は萩本さんに似た人物と会話を交わしたのではなく、本人の癖や身体的特徴など表に出ていない情報が確認されているわけではないので、現時点ではあくまで「目撃情報がある」ということにとどまる。

しかし、目撃時期は失踪 4 か月後であり、当時の萩本さんの雰囲気は調査会ポスター掲載の写真と大きな違いはないはずである。また、昨日提示された萩本さんの別の写真 11 枚についても、金氏は自分の見た人物であると証言している。また、仮にこの人物は萩本さんでなかったとしても、萩本さんに似た日本人の拉致被害者がいる可能性が存在する。

調査会では今回のことを契機に失踪当時の状況等を再調査しているが、萩本さんの失踪は自分の意志によるものとは考えられず、何らかの事件に巻き込まれたことは間違いない。目撃された人物が萩本さんであればそれからすでに 33 年が経過しているわけで、安否が気遣われる。今後金東赫氏の証言については救う会と連携しながらさらに詳しく確認するとともに、調査会としても失踪状況を洗い直し、できるだけ早くに何らかの結論を出したい。また政府の関係機関にも情報収集等早急な対応を求めるところである。

萩本 喜彦(はぎもと よしひこ)さん

生年月日：昭和 15(1940)年 1 月 2 日

失踪年月日：昭和 50(1975)年 4 月 4 日(失踪当時 35 歳)

0 番台リスト公開：平成 17 年 2 月 25 日（12 次リスト）

性別：男

当時の身分：製鉄会社勤務(電気保全係)

当時の居住地：兵庫県高砂市

失踪場所：兵庫県高砂市

失踪当時の状況：夜勤で自宅から会社へ自転車で向かう途中失踪。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★9月21日（日）13：00 仙台集会（救う会宮城主催）

- 仙台市・肴町公園（青葉区大町）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：090-3755-5893（安藤会長）

★10月11日（土）奈良集会（救う会奈良主催）

- 奈良市・奈良県文化会館（近鉄奈良駅から東へ徒歩5分）
- 代表荒木・理事三宅が参加
- 問い合わせ：07463-2-3024

★10月19日（日）秋田集会（救う会秋田主催）

- 秋田市
- 代表荒木が参加

★10月26日（日）14：00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

- 敦賀市・敦賀総合福祉センター（あいあいプラザ）
- 代表荒木が参加

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

- 藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090 (9816) 2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

MM

MMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしく願います。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義：特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願います)

MM

MMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 685](20.9.12)

■特定失踪者0番台リストの追加

昨日 11 日の記者会見で以下の資料を発表しました。なお、辻出さんが公開に切り替わった日付は地元で記者会見の行われた8日ということになります。

0番台 第38次発表 特定失踪者公開リスト

2008年9月11日

辻出紀子 つじでのりこ

性別 女性

生年月日 1974年（昭和49年）11月3日

失踪年月日 1998年（平成10年）11月24日

失踪当時の年齢 24歳

失踪当時の職業 雑誌社記者

失踪場所 三重県伊勢市内

失踪当時の住所 三重県一志郡一志町（当時、現在は津市一志町）

失踪当時の状況

1998年（平成10年）11月24日、午後11時ごろ、勤務先の三重県伊勢市神田久志本町の出版社「伊勢文化舎」を出た後、行方不明。翌日、会社近くの損保会社の駐車場（当時、現在は自動車会社）で本人の車が発見された。車は荒らされた様子はなかった。ただし、車内にタバコが一本残っていたこと（本人はタバコを吸わない）、車の座席が後ろになっていたこと（本人の身長と合致しない）、カーステレオのスイッチが切られていたこと（本人はいつもスイッチをつけっぱなしだった）から、本人ではない第三者が車を移動した可能性がある。

前日までタイに旅行に行っており、帰国したばかりだった。

失踪の直前、取材で知り合った尾鷲市在住の男性から数度本人に電話があり、その男性と駐車場で待ち合わせをしたと推測されている。同男性によれば、「自分の車の中で取材の件で辻出さんと1時間ほど話をし、別の海岸に近いところで辻出さんを降ろした」というものだった。三重県警は、同男性を被疑者として別件（別の女性の拉致監禁容疑）で逮捕したものの、裁判で無罪となった。同男性は「無罪になれば全てを話す」と語っていたが、その後一切の証言を拒否している。

調査会としての対応

調査会としては、平成16年頃、今回の情報と類似した情報を入手したことから、非公開で調査を始めていた。平成18年には、脱北者からの情報を得るために、ご家族から詳細の写真、ビデオなどを預かり、ソウルにて脱北者に確認を求めたが、「辻出さんと思われる女性は記憶がない」とのことだった。

辻出さんの失踪は、「殺人事件」の被害者である可能性も捨てきれないため、今後、「殺人事件」と「拉致事件」の両面から調査を進める。そして、日本政府に対してより強力な調査・捜

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-8 第6松屋ビル 401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は

kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしくお願いします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義: 特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京U F J銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義: 特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご連絡願います)

MM
MMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 684](20.9.12)

■昨日平沼議連会長・西村幹事長と特定失踪者家族が面会・要請

昨日 11 日、平沼赳夫・拉致議連会長及び西村眞悟・幹事長と特定失踪者家族の面会・要請が衆議院第 2 議員会館の会議室にて行われました。ご家族は北は青森から南は鹿児島まで、26 家族 34 人が参加。それ以外に出席できず手紙・要請文書等を託された方が 7 人おられました。参加者の中には拉致議連の会員であり、同時に特定失踪者七條一さんの弟でもある七條明衆議院議員もおられました。

参加者からは自己紹介を兼ねた挨拶とあわせて要請文書・手紙等が直接平沼会長に手渡されました。平沼会長・西村幹事長ともに立ったままで全てのご家族からの挨拶・要請を受けられました。

その後ディスカッションを行い、1 時間の日程を若干オーバーして面会・要請は終わりました。会長・幹事長ともに終始熱心に話を聞き、また答えておられました。なお、この折、政府

を届け先として行っている署名が、現状では総理・官房長官などに直接手渡すことができない現状のため、拉致議連に託す形で渡させていただきたい旨お願いし、平沼会長も快諾されました。署名を集約した後に議連の総会ないし役員会のお届けしたいと思っています。

その後ご家族の記者会見、調査会の定例記者会見が行われましたが、会見では主に先日のニュースでお知らせした辻出紀子さんのことについての発表が真鍋副代表から行われました。失踪に関するデータは会場では配布しましたが、メールニュースにテキストデータが間に合わなかったため、次号ないしその次のニュースでお知らせします。

その後昼食を挟んで懇談会に移り、ご家族から調査会への様々な質問、意見とお答え、意見交換などが行われました。地方自治体との関係、地元政界の対立関係への対処、署名の方法等様々な話が出ました。情報の公開をどのようにするかについても議論が行われましたが、これまで調査会として、不確かな情報についての扱いについてはケースバイケースで、確度が低いとしてご家族に伝えていない情報もあるのですが、ご家族の側からは「確度が低いものは低くても構わないのでできるだけ公表してもらいたい」との意見が多かったように思います。私自身がメモを取っている余裕がなかったので今後内容を整理し、可能なものはできるだけ早く実現していきたいと思っています。このメールニュースでも逐次発表できるものは発表していきます。

(荒木)

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★9月21日(日) 13:00 仙台集会(救う会宮城主催)

- 仙台市・肴町公園(青葉区大町)
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ:090-3755-5893(安藤会長)

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

- 奈良市
- 代表荒木・理事三宅が参加

★10月19日(日)秋田集会(救う会秋田主催)

●秋田市

●代表荒木が参加

★10月26日(日)14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

●敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)

●代表荒木が参加

★12月7日(日)14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ:090(9816)2187又はsukukaikanagawa@hotmail.com

MM

MMMMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博(送信を希望されない方、宛先の変更は

kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしくお願いいたします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義: 特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義: 特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願います)

MM

MMMMMMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 683](20.9.9)

■11日の平沼議連会長・西村幹事長と特定失踪者家族の面会について

報道関係各位

すでにお知らせしていますが9月11日木曜に平沼起夫拉致議連会長、西村眞悟同幹事長と特定失踪者家族の面会・要請が行われます。これについての概略は以下の通りです。ご多忙中恐縮ですが対応賜りますようお願い申し上げます。

面会・要請は10:30から約1時間を予定。場所は衆議院第2議員会館第4会議室です。取材される方で記者証がない場合は入口で入館証を受け取ってください。

●特定失踪者家族は約40人が参加。九州、東北、四国など遠方からも参加されます。ちなみに調査会の財政事情が厳しく、ご家族の参加はすべて自費負担です。

●出席しない方も含め個々のご家族から寄せられた平沼会長宛要請文書・手紙をお渡しします。これはコピーして取材される方々にも配る予定です。

●終了後(11:30頃) 直ちに記者会見を行います(この記者会見は9月の調査会定例記者会見を兼ねます)。なお取材は面会・要請の間も可能です。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★9月21日(日) 13:00 仙台集会(救う会宮城主催)

●仙台市・肴町公園(青葉区大町)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:090-3755-5893(安藤会長)

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご連絡願います)

MM

MMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 682](20.9.8)

■辻出紀子さんに関する報道について

本日9月8日付「産経新聞」で三重県で平成10（1998）年11月に失踪した辻出紀子さんに関するニュースが大きく掲載されました。これに関し以下の見解を公表いたします。

辻出紀子さんに関する本日の産経新聞の報道について

1、辻出さんが拉致されているのではないかという情報は4年程前からあり、調査会としては非公開の形で調査及びご両親との接触を行ってきた。産経新聞の記事にある NGO は調査会である。また、昨年1月23日に発表した「マッピングリスト10 特定失踪者の学歴の共通について」で<ケース15>の最後に「M」とされているのが辻出さんである。

2、本件については未だ辻出さんが国内における犯罪に巻き込まれた可能性も完全には排除できないため、調査会としては当面公開扱い（ゼロ番台リスト）に入れて調査を進める。

3、仮に辻出さんが北朝鮮にいた場合、これまでの情報からすると、北朝鮮当局が拉致ではなく自らの意思で北朝鮮入りした人として発表する可能性がある。今回の情報の出方にもその意味で疑念が感じられる。この点は調査会としても注意していきたい。

4、いずれにしても関係機関には辻出さん失踪の真相究明を早急に進めるよう求めたい。

平成20年9月8日

特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

※なお、地元では先ほどご家族と調査会副代表真鍋が三重県庁で記者会見を行いました。本件についてのお問い合わせは真鍋までお願いいたします。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★9月21日(日) 仙台集会(救う会宮城主催)

- 仙台市
- 代表荒木が参加

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

- 奈良市
- 代表荒木・理事三宅が参加

★10月19日(日) 秋田集会(救う会秋田主催)

- 秋田市
- 代表荒木が参加

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

- 敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)
- 代表荒木が参加

★12月7日(日) 14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

- 藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)
- 常務理事杉野が参加
- 問い合わせ:090(9816)2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

MM

MMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-8 第6松屋ビル 401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしくお願いします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義：特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご連絡願います)

MM

MMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 681](20.9.6)

■「再調査」の延期？

荒木和博

昨日 5 日の記者会見で高村外務大臣は 4 日に北朝鮮側が「調査委員会」の立ち上げを延期すると伝えてきたと発表しました。大臣からは「非常に残念」「遺憾」とのコメントがあったそうですが、大臣は何か勘違いしているのではないのでしょうか。

6 月と 8 月の実務者協議の合意は北朝鮮当局と日本政府の間で行われたものであって、日本の政権がどう変わろうと、北朝鮮側が合意を先延ばしする理由になるはずがありません。日本政府が北朝鮮に「政権が変わるので対応が遅れる」と言うか、北朝鮮側が「金正日体制が倒れ

るので対応が遅れる」というのならともかく、日本の政局を理由に北朝鮮が先延ばしするというのは言語道断です。日本の総理大臣が福田康夫であれキムタクであれ、ミケであれタマであれそれは変わりません。

その意味で、北朝鮮以上に言語道断なのはそのようなことを「残念」とか「遺憾」という人ごとのような言葉で片付ける外務大臣ではないでしょうか。あるいはこのときの記者会見で「人ごとのようだ」と言われたら外務大臣は「私は自分自身を客観的に見ることはできるんです。あなたと違うんです」と言ったのでしょうか。

この記者会見における外務大臣の言葉は結局、外交だけで、話し合いだけで重大な主権侵害である拉致問題が解決しないということを外務大臣自らが証明してくれた、ある意味では歴史的な言葉になるかも知れません。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★9月21日(日) 仙台集会(救う会宮城主催)

- 仙台市
- 代表荒木が参加

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

- 奈良市
- 代表荒木・理事三宅が参加

★10月19日(日) 秋田集会(救う会秋田主催)

- 秋田市
- 代表荒木が参加

★10月26日(日) 14:00 敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

- 敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)

●代表荒木が参加

★12月7日(日) 14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ: 090(9816)2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

MM

MMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしく申し上げます。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義: 特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義: 特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願います)

MM

MMMMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 680](20.9.2)

■福田総理辞任表明

荒木和博

「緊急記者会見がある」というニュースは会見の1時間ほど前にマスコミの方から伝えられました。ひょっとしたら拉致がらみで「再調査」にかかわる重大発表か、と思ったのですがその期待（あるいは不安）はまったく裏切られました。辞任の会見では拉致については一言も話が出ませんでした。実務者協議の報告では中山担当大臣も斉木外務省アジア局長も、政府が一体になってやっていること、総理が信念をもってやっていることを強調していましたが、本当にそうなら一言くらい言及があってもよさそうなものです。

それにしても、あらためて考えると福田さんという人は何のために総理になり、何のために総理をやめるのか、まったくわからない人でした。しかし、想像されるのは次の総理大臣が誰になるにせよ、このままでいけば新総理はまた同じように「一所懸命やります」と言い、何かの格好をつけ、そしてまた日にちが浪費されるということではないでしょうか。

これは例えば民主党政権になっても同じでしょう。今の自民党の状況から言えば民主党がしつかりすればすぐにも政権が転がり込むでしょうし、逆に今の民主党の状況から言えば自民党がしつかりすれば政権は当分安泰でしょう。「外野から何を言うか」と言われるかも知れませんが、私にはヘボピッチャーが真ん中高めの絶好球ばかり投げているのにバッターが空振り三振するという図に見えて仕方ありません。

何度も言ってきましたが、拉致問題は主権侵害であり、国家の基本にかかわる問題です。これを官僚が解決することはできません。どれほど政治家が愚かになったとしても（それはそういう政治家を当選させる有権者の責任ですが）、国民の選択する政治家の決断によって解決するしかありません。誤解を恐れずに言えば政治資金など多少不正があっても構わない、スキャンダルがあっても構わないから、政治家でなければできない決断をしてもらいたいというのが心からの希望です。それをしようとする政治家が少ないから国民は細かいことにこだわらざるを得ないのです。

テレビで記者会見する福田総理の顔を見ていて暗澹たる気分になりましたが、愚痴をこぼしてばかりいても仕方ありません。こういう状態でどうすれば良いかです。逆にこういうことが続けば何か吹っ切れるのではないかとも思います。今回のことをきっかけに拉致問題全体を見直し、視点を変え、運動を前進させるきっかけにできないかと考えています。「災い転じて福となす」ならぬ「福転んで幸いとなす」にしなければなりません。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は

kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしくお願いします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義: 特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義: 特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご連絡願います)

MM

MMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 679](20.9.1)

■11日に拉致議連平沼会長ら幹部へ特定失踪者家族・調査会の要請・懇談

9月11日10:30より、衆議院第2議員会館第4会議室にて、拉致議連の平沼起夫会長・西村眞悟幹事長ら役員と特定失踪者家族・調査会役員の懇談・要請を行います。

これは調査会からの要請に基づいて日程を調整していただいたもので、参加できる特定失踪者のご家族が直接訴える他、出席できないご家族からの文書による要請も行います。終了後同会議室で記者会見も行う予定ですが、時間等詳細は後日お知らせします。お問い合わせは調査会までお願いします。

なお、これとは別に9月4日16:30から1時間程度、特定失踪者ご家族の有志が自主的に政府に要請を行います。対応するのは河内隆・拉致対策本部総合調整室長です(当初中山担当大臣への要請を求めていましたが、多忙で会えないとのこと)。こちらはご家族だけで行うことですので、お問い合わせは小林七郎さん(小林栄さんの弟さん)にお願いします(TEL 090-4410-3242)。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★9月21日(日) 仙台集会(救う会宮城主催)

- 仙台市
- 代表荒木が参加

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

- 奈良市
- 代表荒木・理事三宅が参加

★10月19日(日) 秋田集会(救う会秋田主催)

- 秋田市
- 代表荒木が参加

★10月26日(日) 14:00～敦賀集会(嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会主催)

- 敦賀市・敦賀総合福祉センター(あいあいプラザ)
- 代表荒木が参加

★12月7日(日) 14:00～「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

- 藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)
- 常務理事杉野が参加
- 問い合わせ: 090(9816)2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

MM

MMMMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

